

小学校第4学年国語科学習指導案

日時 平成24年 7月 5日 (木)

指導者 4年担任 教諭 村上 茂

1 単元名 「だれもがかかわり合えるように」

2 単元について

(1) ねらいについて

資料「手と心で読む」は、筆者が点字という文字を獲得した体験が語られている。また、だれもがよりよく関わり合うためのコミュニケーション手段として、目の不自由な方への様々な工夫を紹介している。私たちが人やものに関わり合うとき、文字情報がどれほど大切であり、知らず知らずのうちにどれほど依存しているかについても考えるきっかけとなるだろう。

4年生という時期は、何にでも興味を持ち素直に受け入れる時期である。児童には福祉という視点も持たせながら、身近な工夫や課題に目を向けさせることで、人と人との「関わり合い」ということについて、自分の考えを見つめる好機としたい。

本単元では、「調べたことを工夫してメモする力」「調べたこと整理して発表する力」をつけることをめざしている。これは、社会科や総合的な学習の時間の調べ学習、また、他教科での発表力にも関わってくる。発表については、事例を挙げながら筋道を立てて報告する発表の型を身に付けさせたい。そして、友達の報告を聞くときは、発表の仕方、発表内容の両方に注意して、質問したり感想を伝えたりするよう指導したい。

(2) 児童の実態について

※ 省略

(3) 指導にあたって

- 学習の流れを掲示しておくことで、発表会当日への見通しと意欲を持たせる。
- 事前に発表の仕方の指導やグループ練習、「聞き取りメモ」の指導等を十分に行ってから取り組ませ、発表会へつなぐ。
- 調べたことをまとめる段階では、筋道を立てて話すために、伝えたいことがよく分かるような組み立てを考えさせる。
- 一人学び、ペア（グループ）による話し合いを経て、全体発表を行うことで学習を深めていく。

- プレ発表会を持つことで、自分の発表を振り返り、更によりよいものとする機会にする。
- デジタル教科書やデジタルカメラ等のICT機器を効果的に活用する。
- 個人差に対応するために、学習シートや学習の場の工夫をし、また、考える時間を十分確保する。
- 毎朝の一分間スピーチとも関連を図り、指導内容の定着を図る。

ICT活用のポイント

①教師の活用

- ・導入の課題提示において、教師用デジタル教科書の動画を途中で止めたり、映像を隠したりして考えさせ、課題の焦点化を図る。

②児童の活用

- ・プレ発表会の自分や友だちの発表の様子を動画で見ることにより、友だちのよさに学び、また、自分の発表を振り返ることにより自身の課題を明確につかむ。

3 単元の目標

- ◎ 関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすることができる。
- ◎ 相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立て、話し方を工夫して話すことができる。
- 話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり、感想を述べたりすることができる。

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じて調べたことなどについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたり、進行に沿って話し合ったりしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関心のあることなどから話題を決めている。(ア) ・必要な事柄について調べ、要点をメモしている。(ア) ・相手や目的に応じて、理由や事例などを挙げながら筋道を立てている。(イ) ・丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話している。(イ) ・相手を見たり、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意したりして話している。(ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いて話したり聞いたりしている。(イ(ア)) ・話したり聞いたりするために必要な語句を増している。(イ(オ)) ・修飾と被修飾との関係をはっきりさせて話したりそれらに注意して聞いたりしている。

<p>・話の構成や内容への関心を深め、工夫をしながら話したり聞いたりしようとしている。</p>	<p>・話の中心に気を付けて聞き、質問をしたり感想を述べたりしている。(エ) ・互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合っている。(オ)</p>	<p>(イ(キ)) ・文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使って話したり、それらに注意して聞いたりしている。 (イ(ク))</p>
---	---	--

5 単元の指導計画（15時間取扱い）

時	学習活動	指導上の留意事項	関	話	言	評価基準・評価方法
1	○P104を読み、関わり合いについての自分の考えをまとめる。	・点字ブロックや点字案内板の写真、音声信号の映像など、関わり合いについて考える資料を用意する。	○			<u>関心・意欲・態度【シート】</u> 「関わり合い」について調べて発表するという単元の学習を理解し、意欲的に取り組もうとしている。
2	○資料「手と心で読む」を読み、学習課題を設定して、学習計画を立てる。	・P104「活動の流れ」を活用して学習計画を立てさせる。	○			<u>関心・意欲・態度【シート】</u> 資料を読み、学習計画を立て、今後の学習の見通しを持っている。
3	○課題を設定し具体的な調査内容を決める。	・P109の例も参考にしながら、学級での話し合いを生かして課題設定をする。		○		<u>話す・聞く能力【シート】</u> 「関わり合い」について考えを深めるのにふさわしい課題と、その具体的内容を設定している。
4	○目的に合わせ、課題にふさわしい調査方法を考えて調査計画を立てる。	・P109「調べる方法」の中から、課題にふさわしい方法を選択するよう助言する。		○		<u>話す・聞く能力【シート】</u> 調査内容にふさわしい調査方法を選んだり、記録のしかたを考えたりして、調査計画を立てている。
5 ・ 6	○調査メモを取りながら、調査計画に沿って調査する。	・調査方法に合わせてメモ用紙を用意しておく。		○		<u>話す・聞く能力【調査メモ】</u> 調べたことの要点を短い言葉で分かりやすく調査メモにメモして、計画にそって調査活動を行なっている。
7	○調べたことや集めた情報を分類・整理する。	・P111の分類・整理法を参考に、観点を決めて整理するよう助言する。		○		<u>話す・聞く能力【調査メモ】</u> 観点を決めて調査メモを分類・整理し、話したいことをより具体的にしている。

8 ・ 9	○構成や表現を工夫して、発表原稿を書く。	・簡単な構成や、話し始めの工夫について助言する。		○		<u>話す・聞く能力【発表原稿】</u> 調査内容や結果と自分の考えを区別し、構成を工夫して発表原稿を書いている。
10	○発表に必要な提示資料を作成する。	・効果的な資料の内容や提示の仕方について助言する。		○		<u>話す・聞く能力【提示資料】</u> 分かりやすい提示資料を作成している。
11	○プレ発表会を開く。	・お互いにアドバイスし合えるように、話し方、聞き方のポイントを関連付けて示す。		○		<u>話す・聞く能力【発表・メモ】</u> 話し手はメモを見て、資料を提示しながら話している。聞き手はメモを取りながら聞いている。
12 ・ 13 (本 時)	○聞き手を意識した発表の工夫を考え、練習する。 ○友達と聞き合い、アドバイスし合う。	・言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに気を付けて練習するように助言する。		○	○	<u>話す・聞く能力【観察】</u> 言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、練習している。 <u>知識・理解・技能【観察】</u> 言葉の働きと大切さに気付いている。
14	○保護者や地域の方に向けて、発表会をする。	・話し方のポイント、聞き方のポイントを再度押さえ、相互評価させる。		○		<u>話す・聞く能力【発表】</u> 話し手は聞き手の反応を確かめながら話している。聞き手はメモを取りながら聞いている。
15	○調査や友達の発表を通して考えたことを交流し単元の振り返りをする。 ○コラム「発表のしかた」を読み、発表の形式を知る。	・自分に身についた力を自分自身で振り返られるようにする。		○		<u>話す・聞く能力【シート】</u> 交流によって深まった自分の考えをまとめ、単元全体を振り返っている。

6 本時の展開

- (1) 目標 言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに気を付けて、発表の練習をすることができる。

(2) 展開

過程	学習活動、主な発問(T) 予想される児童の反応(C)	指導上の留意点・評価	備考 ICT 活用
導入 5分	1 本時のめあてを確認する。	○明日の本番で少しでもよい発表ができるように、意欲を喚起する。	
展開 30分	<p>めあて 聞き手を引き付ける発表になるように、発表の練習をしよう。</p> <p>2 上手な発表のVTRを見て、聞き手を引き付ける視点をつかむ。 (T) VTRに先生が入れたいと思ったテロップは何でしょう？ (C) 声の大きさ。間のとり方。</p> <p>3 グループ内でアドバイスし合って自分の課題を決める。 (T) プレ発表会のVTRを見て、今日の課題を決めましょう。 (T) 視点に応じたアドバイスをしましょう。 (C) 読むのが速すぎるよ。 (C) 大事な所は大きな声で言おう。</p> <p>----- 【言語活動】(設定の意図) グループでお互いに聞き合うことで、客観的な意見を得させ発表をよりよくできるように工夫させる。 -----</p> <p>4 グループのアドバイスを生かして課題を設定し、一人で発表の練習をする。 (C) 大事なところは強く言う。間をとる。 (T) 課題に応じて練習しましょう。 (T) アドバイスを生かして練習しましょう。</p> <p>5 ペアで発表し合い、聞き合う。 (T) 課題に注意して聞きましょう。 (C) 前より上手になっているね。</p>	<p>能動型学習 (ポイント) ○以下の視点を与える。 「声の調子」 「強弱のつけ方」 「間のとり方」 ○大事なポイントや練習しての気付き等は発表原稿に書き込ませる。 ○プレ発表会のVTRを止めたり繰り返したりして視点の箇所ができているかグループで話し合わせる。</p> <p>◆話す・聞く能力 (観察) B 基準 伝えたい内容に応じて、課題を持って練習している。また、友だちの発表にアドバイスしている。</p> <p>A 基準 発表に顕著な変化が見られる。または、複数の的確なアドバイスができている。 〈B基準に達していない児童への手立て〉 ○教師のアドバイスや友だちの課題を参考にして課題設定をする。 ○友達のアドバイスをもとに取り組みしてみる。</p> <p>徹底指導 (ポイント) ○自分の課題を言ってから発表する。 ○良くなった点や、練習のポイントを押さえる。</p>	<p>デジタル教科書</p> <p>ノート パソコン</p> <p>プレ発表会のVTR</p> <p>学習シート</p>
終末 10分	6 学習を振り返り、次時の見通しを持つ。 ・明日の発表会の予告を聞く。	○明日の発表会に向けての意欲を喚起する。	